

●利用者5● 102歳 女性【老々介護のレスパイト】

✓体調の波に合わせて支援方法を柔軟に調整

✓レスパイトを目的とした通いと泊まりを中心にサービス提供

1. 利用者の基本情報

世帯構成	実娘と二人暮らし				
介護力	主たる介護者は娘（75歳）。常時、介護可能。				
要介護度	要介護4				
障害高齢者の日常生活自立度	B2		認知症高齢者の日常生活自立度	Ⅲa	
ADL	移動	食事	排泄	入浴	着替え
	全介助	見守り	全介助	全介助	一部介助
主な傷病	・脳梗塞後遺症 ・鼠径ヘルニア ・アルツハイマー認知症				
必要な医療処置	・褥瘡の処置 ・服薬管理 ・浣腸 ・摘便 ・リハビリテーション ・鼠径ヘルニア用手陥のう				
ターミナル期	ターミナル期ではない	病状の安定性・悪化の可能性		不安定・悪化の可能性あり	

2. 利用開始の経緯と利用開始直後のサービス提供状況

○利用開始の経緯

- ・入退院を繰り返しており、当初、他法人の居宅介護支援事業所を利用していた。当法人からは訪問看護と療養通所介護のサービスを提供しており、他法人の居宅介護支援事業所との関係も良好であった。利用者は、この他にも、他法人の通所リハビリテーションも利用していた。
- ・褥瘡があり、その状態は改善したが、ADLの低下に伴い介護負担が増し、レスパイト目的で療養通所介護の泊まりを自費で利用していた。泊まりの回数が増える中、看護小規模多機能型居宅介護に切り替えることとなった。

○利用開始から最初の2週間のサービス提供状況

- ・レスパイトを目的とした通いと泊まりを中心に、サービスを組んだ。通いでは、レクリエーションを楽しんでおり、塗り絵や作業レクリエーションへ参加している。行事へも参加している。
- ・セッティングすれば、食事は自主摂取が可能だが、ミキサー食による特別調理で対応した。
- ・アローゼン（下剤）による排便コントロールを行っていた。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目
通い	○	○	○		○	○		○	○	○		○	○	
泊まり		●							●					
訪問（看護）				☆ 1回							☆ 1回			

3. その後のサービス提供状況

○直近の2週間のサービス提供状況

- ・介護負担が大きいことから、レスパイト目的の宿泊を週2回に増やした。
- ・排便コントロール、ヘルニア陥のう、足趾処置（凍瘡）、仙骨部凍瘡処置に対応している。
- ・皮膚科往診の介助に対応している。
- ・通いでは、体調の波に合わせて食事の量や介助の度合いを調整したり、疲れているようであれば午睡など休息を取ったりしている。

	1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目	10 日 目	11 日 目	12 日 目	13 日 目	14 日 目
通い	○		○	○		○	○	○		○	○		○	
泊まり			●			●				●			●	
訪問 (看護)		☆ 1回			☆ 1回				☆ 1回			☆ 1回		

○サービス利用の効果

- ・102歳の本人と75歳の娘である介護者の二人暮らしであり、介護者の負担が大きく、定期的な宿泊利用で休息することができ、レスパイトの効果があった。介護者は、ゆっくりと睡眠を取ることができ、介護を頑張ることができると話している。
- ・また、介護者にとって、事業所の看護職員、介護職員と一緒に看てくれて、情報共有できているという安心感は大きい。本人が事業所で楽しそうにしていることが嬉しいとも話してくれた。サービスを利用する前は、自分一人で看ているという不安感、利用者と二人きりの生活の煮詰まり感が大きかった。
- ・睡眠パターンの変調で、日中活動性に波があり、疲れているようであれば午睡を取るなど、気分に合わせて活動を支援することができている。
- ・本人のできることを活かしたレクリエーションへの参加や塗り絵製作物の取組など、楽しみを持つことができている。